

センターだより

2012年
10月1日
第10号

♪ 第2回みんなの広場開催 ♪

7月29日（日）に第2回みんなの広場『楽しく☆ヒップホップ☆』（子育て総合支援センター共同企画）を開催しました。募集開始から反響が大きく、幼児親子から60代まで幅広い申込みがあり、あっという間に定員の60名に達しました。



SHUN先生

講師は富木島町にある『スタジオフローレス』でダンスを教えている石丸峻（SHUN）さんです。SHUNさんの弟さんであるKEIさんと他にKUZさんの3人で教えていただきました。



最初はヒップホップの簡単なステップから。みんな少し緊張気味でしたが、どんどんステップがヒップホップらしくなってくると先生をまねて楽しく踊っていました。

今、ダンスは子どもの習い

事としても大人気ですね。経験者の方もいましたが、中学校の保健体育でダンスが必修科目になったこともあり、未経験者の子が初めてトライする姿が多く見られました。ダンスは多くの仲間とのコミュニケーションを豊かにすることができます。このような普段の団体活動とは違うところで楽しく交流することで、それぞれの団体の活性化につながるのではないのでしょうか。また今後も楽しいイベントを企画していきたいと思います。



途中でメディアスエフエムの取材もありましたよ



参加者のみなでイエ〜イ☆

-夏休み特別企画-



「エコって工作☆2012」開催しました！

平成24年8月5日(日)、今年で3回目となる夏休み特別企画「エコって工作☆2012」が開催されました。不要となったペットボトルやダンボールといった資源を利用して楽しく工作し、物を大切にす
る心と、創意工夫の喜びを学びました。

たくさんのおもたちの参加で賑わい、「鉄砲を作って友達と輪ゴムの飛ばし合いする!」「サッカーボールが欲しいから作る」「お父さんに手伝ってもらってスクリュー船を作る」「ヨーヨーにかわいい絵を描く」といった声があちらこちらから聞こえてきました。かごサッカーボールは、牛乳パックから6本の短冊を作り網目にするのが難しく、講師の方や中学生ボランティアの方に指導を受けて作りました。ダンボール恐竜は、星城大学の学生ボランティアさんにずっと付き添って手伝ってもらい、参加時間のほとんどを費やすほど時間がかかりましたが、立派な恐竜が出来上がりました。

出来上がった作品ですぐに遊ぶ子どもたちもいて、みんなとても楽しそうでした。

当日はメディアスエフエムのインタビューもあり、皆様にも参加者の声が届いたのではないのでしょうか。

製作したもの

- *ダンボール→ダンボール恐竜
- *わりばし→わりばし鉄砲
- *かまぼこなどの板→スクリュー船
- *ペットボトル→ペットボトル風車
- *牛乳などのパック→かごサッカーボール、ビッグヨーヨー



多くの子どもたちで大盛況!

ダンボール恐竜

わりばし鉄砲

のこぎりを使って木っば工作

◆◆団体紹介◆◆今回は講師としてお手伝いしていただきました2団体の紹介です。

ボランティアサポート

山口清裕さん

ボランティアサポートの主な活動は放課後子ども教室・わくわく!科学実験教室(東海市内小学校)参加、社会福祉協議会事業参加協力、災害発生時の支援活動等です。

エコ工作などでは、1年生、2年生の小さい子どもさんでも作って遊べる楽しい作品がたくさんあります。

会員は現在14名、年齢制限はありません。会費は1年間1,000円です。

いつでも入会できますので、皆様の参加をお待ちしています。

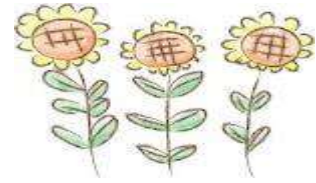
特定非営利活動法人学童保育ざりがにクラブ

鳴海汎さん

法人事業として学童保育と障害児支援を実施しています。今年4月からは、愛知県立ひいらぎ養護学校生の「放課後デイサービスまるまるね」を開設しました。学童保育も児童デイサービスも東海市では先駆けた事業です。180世帯の児童225名が利用し、30名の職員が携わる大所帯となっています。

また、東海市まちづくり協働推進事業として「自然と遊びの体験講座」を3年間続けています。加木屋児童館を拠点に里山遊びや太田川サイクリングを体験します。

戦争を語る会



8月22日(水)に夏休み特別企画として「戦争を語る会」が開かれました。東海市内に在住の早川五昌さん(91)、久野為和さん(87)、村尾明二さん(77)の3人の方々に、太平洋戦争の貴重な体験をお話していただきました。

早川さんは、広島県大崎浦の海軍荒(あらし)部隊で特殊潜航艇の整備に当たられていました。呉軍港で米軍のグラマン艦載機による大空襲を目の当たりにし、次々と死んでゆく日本兵の話や、爆心地からわずか80キロ地点で原爆投下を経験した話を生々しく語られました。「命は惜しいと思わず、命は馬よりも軽い」としていた当時の日本兵の心境も語られました。

久野さんは、熱田中学校での軍事演習の話や徴兵検査の様子その他、出征時に加木屋町の熊野神社でお祝いを受けた時の複雑な気持ちなどを述べられました。最前線では誰一人として「天皇ばんざーい!」と叫んで死ぬものはいなかった。「お母ちゃん!」と叫んで死んでいったというお話は印象的でした。

村尾さんは、当時鹿児島県に住んでおられ、徴兵により父のいない家庭を守る母子の戦争体験を子どもの立場で語られました。「防空壕を母が一人で掘り、食べるものもなく、残された家族もまた悲惨だった」というお話を当時の貴重な写真の資料と共にお話下さいました。

実際の生々しい体験を聞くことにより、戦争の悲惨さを感じることができました。戦争体験者も年々減っています。

風化させることなく私たちが次の世代へ語り継いでゆく義務があると感じさせられました。



ギャラリースペース

一次回開催予定

9月29日(土)
~10月8日(月)
切手アート東海
「切手パンチアート」



10月9日(火)
~10月29日(月)
武下久美子
「秋の花 作品展」



11月6日(火)
~11月20日(火)
MADE IN わたし
「シャドーボックス展」



11月20日(火) 10:00
小会議室にて体験講座を開催
いたします。



是非ご来館ください

第3回みんなの広場のご案内

皆さんは、ご自分の「名刺」をお持ちですか？

名刺は、自己紹介の一環として交換されたり、職業上の儀礼のために手渡されるものです。

専門の業者さんをお願いして作っている方が多いと思いますが、実は、意外にもパソコンで簡単に作成することができるんですよ。

今回は『パソコンお助けサークル』の竹内先生をお迎えして、「オリジナル名刺」作りに挑戦します。

氏名・住所・電話番号はもちろん、顔写真や、ウェブサイトのURL・メールアドレスを記載したりと、自分だけのオリジナル名刺を作れますよ。この機会に是非作ってみませんか？

一度作り方を覚えれば、家でも簡単に作れるようになるのもうれしいですね。

●第3回みんなの広場／スキルアップ講座

パソコンでオリジナル名刺を作ろう！

日時 10月30日（火）13：30～15：30

場所 市民活動センター大会議室

講師 パソコンお助けサークル 竹内慎治さん

参加費 無料（定員20名程度）

※ただし印刷される方は、印刷と用紙代で
200円程度必要

詳細およびその他注意事項は別紙チラシをご覧ください。



編集後記

.....
芸術の秋、食欲の秋、読書の秋……。秋にもいろいろありますが、皆さんはどんな秋になりそうですか？今年も東海市の秋の一大イベント「東海秋まつり」が開催されますね。体育館には、たくさんの芸術作品が展示され、公園にはたくさんの飲食ブースが軒を連ねますよ。芸術と食欲の秋が、一度に楽しめますので、どうぞお出かけください。また市民活動センターには、おすすめの本がたくさんありますので読書の秋に是非お役立てください。お待ちしております。

- 発行 東海市立市民活動センター
- 住所 〒477-0031
東海市大田町後田20番地の1
(ソラト太田川3F 東海市民交流プラザ内)
- 電話 0562-32-3400
- FAX 0562-32-8180
- 開館時間 午前9時～午後9時
- 休館日 毎月第4月曜日
12月29日～翌年1月3日
- E-mail shimin-c@fuga.ocn.ne.jp
- ホームページ
<http://www5.ocn.ne.jp/~s-catudo/>